	授業科目/アウトカム対応表																																					45
	学年	1	1	1	1 1	1	1 1	1	1	1	1 ×m	1	1 :	1 1	1	1 1	1	1	1 1 20 FB	1	1	1	1]	. 1	1	1	1	1	1	1 1	1 1	1	1	1	1 1	1	1	第 1 1 学 年
	拉莱 利日	哲学入門	哲学特論	行動科学	歴史学研究法	現代社会	人 し し	地域論	本語表	目然科学	神胞生物	分子生物	生物学実習	勿里学 里 学 果 学	物理学実	基礎物理 基礎有機	化学実習	解析	界下代数	· 央 : 語 : I	英 語 Ⅱ	英語実習	英語実習	トイツ語	トイツ語	トイツ語	ノランス	シ	ノランス	ノー5 ラー記 スーコ	ザーザ 国 I 国 語 I 語 I I I	国 国語 田	中 国 語 II b	医学概 論	早期本験学習	医学概論	医学特論	情報科学
	授業科目	1 1	р ш	基礎	究門法	云論	学学		現場法・	入門	学基礎	学基礎	習「石	基 概	習	化化学		3	女 女 子と 科 学			Ĭ	Π	I I	Π	II b	語 I	語言	語 語 II]		a b	o a	b	I A	(本)		· 医 学	サ め
	アウトカ								アカデ																										実習		生命	
									ミックロ																												科学入品	
									ライティ																												門	
									ーング																													
Α.	倫理とプロフェッショナリズム																																					
:	豊かな教養と確固たる倫理観を身につけ、利他的かつ公正な態度で行動できる。	0	0	0	0 0	0	0 0	0	0											0	0	0	0 0) C	0	0	0	0 ()		0	0	0	0	0	0		30
	2人々を尊重し、医療者・研究者として、 社会に対して責任を遂行できる。	0	0	0	0	0	0		0										0	0	0	0	0 0	С	0	0	0	0 () () C	0	0	0 0	0	0		28
;	医療行為・医学研究者の主体者としての自分自身の在り様に気づくことができ、自らの行為を常に見極めることができる。	0	0	0	0	0	0		0				0							0	0				0	0	0	0 () () C	0	0	0 0	0	0		26
	医療と関連する各種法令を理解し、それらを遵守することができる。								0										0														\coprod					2
į	同僚や後輩に対して助言や指導ができる。	0	0	0	0	0		0	0				0									0	0 0	С	0	0								0 0)	0		17
発展	医学知識と問題対応能力 最し続ける基礎医学、社会医学、臨床医学、行動科学に関する以下の領域の知識を 身し、それらを根拠に基づいて診療や研究に活用することができる。																																					
	遺伝、発生											0							0																		0	3
	上									0	0		0 0	0																							0	6
	心理、行動			0																																		1
2	成長・発達、加齢、死											0																										1
į	· 発病機構、病態					П													0														\prod		+		0	2
(5 診断、治療					П												\top					\top		 					+	+		\prod		1			0
,	7公衆衛生・疫学			+										+				0 0	0				+		 						+		\prod		+		0	4
8	3 地域医療・福祉・介護					П	С	0															\top							+	+				+			2
(医療安全管理																		0																			1
10	感染対策																																					0
1	医療情報管理・個人情報保護																																				(0 1
C.	診療の実践と医療の質向上	· · · · · · · ·	ļ <u>ļ</u>		ļ	!	ļ.	ļ	!			!_		<u>,</u>	<u>, i</u>	ļ	ļ	ļ	ļ	ļ	ļļ.	<u> </u>	ļ.	ļ		<u> </u>		ļ.	!		!	ļ	 	ļ		-! -!		
	患者に対して深い敬意と思いやりを示し、患者背景に配慮した全人的医療を実践 できる。						0 0	0	0											0	0	0	0		0	0	0	0 () () C	0	0		0			21
4	と 患者の病歴聴取を正確に実施できる。																																					0
;	B 患者の身体診察を適切に実施できる。																																					0
4	基本的臨床手技や救急処置を適切かつ安全に実施できる。																																					0
į	5 臨床推論によって的確な鑑別疾患を挙げることができる。																																					0
(診断や治療に必要な検査計画を立案し、検査結果を解釈することができる。																	0)																			2
,	7 適切な治療計画を立案し、治療に参加できる。																																					0
	インフォームドコンセントや患者教育に参加できる。																																					0
	自らが担当する患者の医療文書や診療録を作成できる。																																					0
10	自らが担当する患者についてプレゼンテーションができる。							0														0	0															3
1	医療安全や感染対策を適切に実施できる。																																\coprod					0
12	関連情報を分析し、EBMを実践することができる。																	0 (O																			2
D.	コミュニケーションとチーム医療				<u> </u>				<u> </u>	I I				<u> </u>	 			T		1	<u> </u>					<u> </u>							 -					
	患者や患者家族の言葉を傾聴し、理解や共感、支持的態度を示すことにより、良好な信頼関係を築くことができる。			0			0		0											0	0	0	0 0		0	0	0	0 () C	0	0		0			20
	ICTも有効に活用し、病状・治療方針などを明確に患者や患者家族に伝えることができる。			0																											_							1
	医療チームのスタッフと良好な関係を築くことができる。			0					0													0	0 0) C	0	0					_		\coprod		0			9
	リーダーシップを発揮しつつ、多職種間連携を円滑に行うことができる。			0					0															С	0	0												6
Ε.	生涯にわたって自律的に学ぶ姿勢				<u> </u>				<u> </u>					1	1 1					<u> </u>					<u> </u>													
-	知識、技能、態度の向上を目指し、自己主導型学習を行うことができる。							0	0				0 0			0 0						0	0 0) C	0	0							\coprod		_			O 20
	他の医療者と共に医学・医療の進歩に関心を持ち、生涯にわたって自律的に学び続けることができる。								0		0	0	0 (0	0	0 0	0	0 ()			0			0	0												18
F.	地域医療への貢献								<u> </u>					1	1 1					<u> </u>											$\overline{}$		T					
	保険制度をはじめとした医療提供体制(救急医療や在宅医療を含む)について説明できる。								0									0 ()			_									+		\coprod		_	\perp		3
	保健・医療・福祉・介護の施設間や職種間での連携の必要性とその方法について 説明できる。								0					_																+	\perp		\bigsqcup		_			1
	地域医療の基盤となるプライマリ・ケアを実践できる。																					_									+		\bigsqcup		$\frac{1}{1}$	\perp		0
	地域医療に積極的に参加できる。						С	0	0											_		_								+			\coprod					3
	地域住民に対する疾病予防、健康増進、安全確保のための活動に参加できる。								0		_									_		4					_			+	_		\coprod			\perp		1
	災害医療に積極的に参加できる。								0																													1
G.	科学的探求心と国際的視野 医学・医療での未解決の課題を発見し、その解決方法を科学的に考案することが							 	<u> </u>		<u> </u>	<u></u>			 		 			 		T			 		T			\top	\top	<u> </u>	\Box		$\overline{}$	\top		
	できる。			+		\sqcup		-		0	0		_			0 0				-		_			0	0				+	+		H		_	+	0	18
	医学研究で用いられる基本的研究手技を実施できる。 実習・実験結果について論理的に考察し、 プレゼンテーションすることができ			-		$\mid \mid$						+	0	+	0			0 (<u> </u>			-		-					+	+		H		+	+	+	5
;	実習・実験結果について論理的に考察し、プレゼンテーションすることができる。								0				0	_	0		0	0 () 				0		<u> </u>						_		\square		_			9
	ICTを活用して、英語により必要な医学情報を得ることができる。			_							_						+			-		0	0		_						_		H		_			3
į	医療の発展のために、得られた研究成果を世界に情報発信することができる。			-		\square			0		1				$\frac{ \cdot }{ \cdot }$		H	0 (<u> </u>	\vdash				+		0	0 () C	0	0		+	\parallel		17
-	科学的思考に基づいた批判・討論ができる。			0				0	0	0	0	0	(0		0 0	H) O		\vdash				0				<u> </u>		+		H		+	+	+	19
	国際的視野に立って医学・医療に関する課題について、考察することができる。			_		\square	0				_						\sqcup	0 () 	0	\vdash			+	+				+	+			0		+		0	20
	医療活動を通した国際協力に関心を示し、参加することができる。						0															0	0 0		0	0	0	0 () C		0					15

授業科目/アウトカム対応表																																						37
学年	2					2		2			2 2		2 2			2	2		2		2		2	2	2	2	2	2	2 2		2	2	<u> </u>			2		学
	文学	芸術学	倫理学	法 学 	文	教育学	英語セ		イツ	フラン	中国語言	中欧言語	人間科学研 - 全人的医療	医系物理学	応用分子化学	確率・:	基礎科学研究	英 語 Ⅲ	英語実習Ⅲ	細胞生理学	基礎人体	発生学	生化学序論	地域医療体験	代謝生化	代謝生	核酸・	١,	• 乖	申 :	神経解剖学	人体構造学	人体構造学			臓器生理学実習 I	臓器生理学·	年のまり
授業科目					化論		ミナ	語ゼミ	語圏言	ス語圏	圏言れる	語 文 と	究 体		子化学	統計	学研究		習 Ⅲ ┃	理学	機能		序論	療体験	化学	代謝生化学実習	病態生	· 有 · 自 · 自	717	学	剖学	造 学	造学実習	理 学 I		理学実	理学実	
アウトカ								ナール	語圈言語文化研	ランス語圏言語文化	宣言語文化研究	ザ 究	験学習								構造学			実 習 I		習	生化学	9	七 学 专				習			習 I	習Ⅱ	
									究 :	化 研 究	究																	길 	3									
A. 倫理とプロフェッショナリズム				<u> </u>								ļ																								<u> </u>		
1 豊かな教養と確固たる倫理観を身につけ、利他的かつ公正な態度で行動できる。	T_{o}	T	T	T				$\overline{\Box}$		$\overline{\Box}$	0 0	\top		Τ				0	0	T	0		0		0				Τ		0		Το			Τ		23
	+			+							0 0																		+		_		<u> </u>			+		
2 人々を尊重し、医療者・研究者として、 社会に対して責任を遂行できる。 医療行為・医学研究者の主体者としての自分自身の在り様に気づくことがで	+								+			+	0				-	0						0					+				0			+		18
き、自らの行為を常に見極めることができる。	0			0							0 0		0				0							0					+				0			+		15
4 医療と関連する各種法令を理解し、それらを遵守することができる。		+		0				_	+			+	0					_						0					+				0			+		4
5 同僚や後輩に対して助言や指導ができる。 B. 医学知識と問題対応能力			0	0		0	0	0	0)					0	0	0					0							0		0					14
3. 医子が臓と同梱が応記が 発展し続ける基礎医学、社会医学、臨床医学、行動科学に関する以下の領域の知識を 習得し、それらを根拠に基づいて診療や研究に活用することができる。	È																																					
1 遺伝、発生																	0				0	0	0		0		0			5	0	0	0					11
2 正常構造、機能、代謝														0			0			0	0	0	0		0	0	0) ()	0	0	0	С	С	0	0	18
3 心理、行動												(Э)	0			С	С			5
4 成長・発達、加齢、死									+			+					0				0	0			0					5	0	0	0	C	C	+		10
5 発病機構、病態											+									0		0			0		0			D	0	0	0	C	C	+		11
6 診断、治療	+	+		+					+		+			+			+								0		0)	+		0			+		+		3
7 公衆衛生・疫学		+		+					+					+		0																						1
8 地域医療・福祉・介護		+		+					+	+	+		0	+										0					+							+		2
9 医療安全管理		+		-							+			+															+					1		 		0
10 感染対策	1	+	-	-				<u> </u>	+	+		+		+												_			+					+		+		0
11 医療情報管理・個人情報保護									+																				+				0			<u> </u>		1
こ. 診療の実践と医療の質向上		<u> </u>		<u> </u>	<u> </u>																					<u></u>								<u> </u>		<u> </u>		1
患者に対して深い敬意と思いやりを示し、患者背景に配慮した全人的医療を実施		Τ					0	$\overline{\Box}$	$\overline{\Box}$	$\overline{\Box}$	0 0	$\overline{\Box}$						0	0	T				0					Τ					<u> </u>		Τ		10
できる。		<u> </u>																											+							<u> </u>		12
2 患者の病歴聴取を正確に実施できる。		+		-					+	+							-												+					+		+		0
3 患者の身体診察を適切に実施できる。		<u> </u>							<u> </u>																				_					+				1
4 基本的臨床手技や救急処置を適切かつ安全に実施できる。		+							-								-												+					+		+		0
5 臨床推論によって的確な鑑別疾患を挙げることができる。									-																											_		0
6 診断や治療に必要な検査計画を立案し、検査結果を解釈することができる。		_							_							0													+					-		_		1
7 適切な治療計画を立案し、治療に参加できる。		_																																		_		0
8 インフォームドコンセントや患者教育に参加できる。		_							_																											_		0
9 自らが担当する患者の医療文書や診療録を作成できる。																																						0
10 自らが担当する患者についてプレゼンテーションができる。							0											0	0																			3
11 医療安全や感染対策を適切に実施できる。																																						0
12 関連情報を分析し、EBMを実践することができる。																0																						1
 コミュニケーションとチーム医療 	ī															ı	•					ī	ı		ī	•	1			1	ı		1			_	ı	
1 患者や患者家族の言葉を傾聴し、理解や共感、支持的態度を示すことにより、」 好な信頼関係を築くことができる。	^臭 O						0	0	0	0	0 0		0					0	0					0														11
2 ICTも有効に活用し、病状・治療方針などを明確に患者や患者家族に伝えることができる。																																						0
3 医療チームのスタッフと良好な関係を築くことができる。							0	0	0			Э	0					0	0				_	0								_						8
4 リーダーシップを発揮しつつ、多職種間連携を円滑に行うことができる。								0	0	<u> </u>			0											0														5
E. 生涯にわたって自律的に学ぶ姿勢																												•										
1 知識、技能、態度の向上を目指し、自己主導型学習を行うことができる。	0						0	0	0			0			0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0				0	0	0					21
2 他の医療者と共に医学・医療の進歩に関心を持ち、生涯にわたって自律的に学び続けることができる。	ŢĬ.						0	0	0)			0	0	0	0	0			0		0	0	0			+		0							14
 F. 地域医療への貢献	1	ı	1	1	•	•						<u> </u>	·	1							1				•		1		1	l				1	ı	1	1	
1 保険制度をはじめとした医療提供体制(救急医療や在宅医療を含む)について記	说												0			0								0														3
明できる。		+	+								+		0											0					+					+		+		2
	C				1				- 1			+	+											0			-	+	+				+			1		2
明できる。 保健・医療・福祉・介護の施設間や職種間での連携の必要性とその方法について	C												0	ļ	. 1							- 1	J	\cup							I							2
1 明できる。 2 保健・医療・福祉・介護の施設間や職種間での連携の必要性とその方法につい。説明できる。													0											0			<u> </u> 		+	1								2
1 明できる。 2 保健・医療・福祉・介護の施設間や職種間での連携の必要性とその方法について説明できる。 3 地域医療の基盤となるプライマリ・ケアを実践できる。	C																												 									2
1 明できる。 2 保健・医療・福祉・介護の施設間や職種間での連携の必要性とその方法について説明できる。 3 地域医療の基盤となるプライマリ・ケアを実践できる。 4 地域医療に積極的に参加できる。													0											0														2
1 明できる。 2 保健・医療・福祉・介護の施設間や職種間での連携の必要性とその方法について説明できる。 3 地域医療の基盤となるプライマリ・ケアを実践できる。 4 地域医療に積極的に参加できる。 5 地域住民に対する疾病予防、健康増進、安全確保のための活動に参加できる。 6 災害医療に積極的に参加できる。													0											0														2
1 明できる。 2 保健・医療・福祉・介護の施設間や職種間での連携の必要性とその方法について説明できる。 3 地域医療の基盤となるプライマリ・ケアを実践できる。 4 地域医療に積極的に参加できる。 5 地域住民に対する疾病予防、健康増進、安全確保のための活動に参加できる。 6 災害医療に積極的に参加できる。 6 災害医療に積極的に参加できる。 7 科学的探求心と国際的視野 7 医学・医療での未解決の課題を発見し、その解決方法を科学的に考案することを													0											0	0													2 2 0
1 明できる。 2 保健・医療・福祉・介護の施設間や職種間での連携の必要性とその方法について説明できる。 3 地域医療の基盤となるプライマリ・ケアを実践できる。 4 地域医療に積極的に参加できる。 5 地域住民に対する疾病予防、健康増進、安全確保のための活動に参加できる。 6 災害医療に積極的に参加できる。 3. 科学的探求心と国際的視野 1 医学・医療での未解決の課題を発見し、その解決方法を科学的に考案することができる。								0	0			D	0		0		\dashv					0	0	0	0		+	+	+	+	0				C			2 2 0
1 明できる。 2 保健・医療・福祉・介護の施設間や職種間での連携の必要性とその方法について説明できる。 3 地域医療の基盤となるプライマリ・ケアを実践できる。 4 地域医療に積極的に参加できる。 5 地域住民に対する疾病予防、健康増進、安全確保のための活動に参加できる。 6 災害医療に積極的に参加できる。 3. 科学的探求心と国際的視野 1 医学・医療での未解決の課題を発見し、その解決方法を科学的に考案することできる。 2 医学研究で用いられる基本的研究手技を実施できる。													0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	+	C)	(0		0		C			2 2 0
1 明できる。 2 保健・医療・福祉・介護の施設間や職種間での連携の必要性とその方法につい。説明できる。 3 地域医療の基盤となるプライマリ・ケアを実践できる。 4 地域医療に積極的に参加できる。 5 地域住民に対する疾病予防、健康増進、安全確保のための活動に参加できる。 6 災害医療に積極的に参加できる。 3. 科学的探求心と国際的視野 1 医学・医療での未解決の課題を発見し、その解決方法を科学的に考案することできる。 2 医学研究で用いられる基本的研究手技を実施できる。 3 実習・実験結果について論理的に考察し、プレゼンテーションすることができる。							0	0					0	0	0	0	0	0				0	0	0	0		+	C	+	(0		0		C			2 2 0
1 明できる。 2 保健・医療・福祉・介護の施設間や職種間での連携の必要性とその方法につい説明できる。 3 地域医療の基盤となるプライマリ・ケアを実践できる。 4 地域医療に積極的に参加できる。 5 地域住民に対する疾病予防、健康増進、安全確保のための活動に参加できる。 6 災害医療に積極的に参加できる。 3. 科学的探求心と国際的視野 1 医学・医療での未解決の課題を発見し、その解決方法を科学的に考案することできる。 2 医学研究で用いられる基本的研究手技を実施できる。 3 実習・実験結果について論理的に考察し、プレゼンテーションすることができる。 4 ICTを活用して、英語により必要な医学情報を得ることができる。							0	0	0				0	0	0	0	0 0	0	0		0	0	0	0	0		+	C)	(0		-		C		0	2 2 0
1 明できる。 2 保健・医療・福祉・介護の施設間や職種間での連携の必要性とその方法につい。説明できる。 3 地域医療の基盤となるプライマリ・ケアを実践できる。 4 地域医療に積極的に参加できる。 5 地域住民に対する疾病予防、健康増進、安全確保のための活動に参加できる。 6 災害医療に積極的に参加できる。 3. 科学的探求心と国際的視野 1 医学・医療での未解決の課題を発見し、その解決方法を科学的に考案することできる。 2 医学研究で用いられる基本的研究手技を実施できる。 3 実習・実験結果について論理的に考察し、プレゼンテーションすることができる。							0		0				0	0	0	0	0 0	0			0	0	0	0	0		+	C)	(0		-		C			2 2 0
1 明できる。 2 保健・医療・福祉・介護の施設間や職種間での連携の必要性とその方法につい説明できる。 3 地域医療の基盤となるプライマリ・ケアを実践できる。 4 地域医療に積極的に参加できる。 5 地域住民に対する疾病予防、健康増進、安全確保のための活動に参加できる。 6 災害医療に積極的に参加できる。 3. 科学的探求心と国際的視野 1 医学・医療での未解決の課題を発見し、その解決方法を科学的に考案することできる。 2 医学研究で用いられる基本的研究手技を実施できる。 3 実習・実験結果について論理的に考察し、プレゼンテーションすることができる。 4 ICTを活用して、英語により必要な医学情報を得ることができる。							0 0	0	0	0		(0	0		0	0 0	0	0		0	0		0	0)		0	0	0					2 2 0 19 8 0 17 4
1 明できる。 2 保健・医療・福祉・介護の施設間や職種間での連携の必要性とその方法についできる。 3 地域医療の基盤となるプライマリ・ケアを実践できる。 4 地域医療に積極的に参加できる。 5 地域住民に対する疾病予防、健康増進、安全確保のための活動に参加できる。 6 災害医療に積極的に参加できる。 3. 科学的探求心と国際的視野 1 医学・医療での未解決の課題を発見し、その解決方法を科学的に考案することできる。 2 医学研究で用いられる基本的研究手技を実施できる。 3 実習・実験結果について論理的に考察し、プレゼンテーションすることができる。 4 ICTを活用して、英語により必要な医学情報を得ることができる。 5 医療の発展のために、得られた研究成果を世界に情報発信することができる。	35						OOO	0 0	0					0		0	0 0 0	0	0 0		0			0	0						0	0	0			0		2 2 2 0 19 8 0 17 4 8

	授業科目/アウトカム対応表		ı		1		1	ı	ı														ı						2	28
	学年	3 薬		3 再	3 病	3 病	3 腫	3 微	3 微	3	3	3 再	3 医	3 医	3 診	3 行	3 研	3	3 循	3 呼	3 神	3 搬	3 眼	3 精	3 耳	3	3 筋	3 皮	3	第3 学 年
	授業科目	薬理学	薬 理学 実習	再生医学	病態発生学	病態発生学	腫瘍学	微生物学	微生物学宝	免疫学	先端医科学	再生医学実習	医学英語	医の倫理・	診断学序論	行動科学応用	研究室配属	血液と造血	循環器系	呼吸器系	神経系	歯科口腔系	・視覚系	精神系	鼻 • 啊	分泌・	肋・骨格系	膚・	・ 0 尿 i	- のまとめ
	アウトカ		習		学 I	学Ⅱ			実習		学	実習		Ι	論	応用	属	血臓器系				系	系		咽喉系	代謝系	系	結合組織系	系)
																		<i>/</i> \												
Δ	倫理とプロフェッショナリズム																													
	豊かな教養と確固たる倫理観を身につけ、利他的かつ公正な態度で行動できる。			0							0	0	0	0	0	0	0		0	0		0							1	1
2	人々を尊重し、医療者・研究者として、 社会に対して責任を遂行できる。			0			0				0		0		0	0	0		0	0		0							1	2
3	医療行為・医学研究者の主体者としての自分自身の在り様に気づくことができ、自らの行為を常に見極めることができる。			0			0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0			1	15
	医療と関連する各種法令を理解し、それらを遵守することができる。			0							0	0			0		0		0	0	0	0				0			1	0
5	同僚や後輩に対して助言や指導ができる。			0							0	0		0	0	0	0				0								8	8
発展	医学知識と問題対応能力 し続ける基礎医学、社会医学、臨床医学、行動科学に関する以下の領域の知識を し、それらを根拠に基づいて診療や研究に活用することができる。								•										,				•							
	遺伝、発生			0	0	0	0			0	0	0			0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0 2	20
2	正常構造、機能、代謝	0	0	0	0	0	0			0	0	0			0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 2	13
3	心理、行動	0													0	0					0		0	0	0				,	7
4	成長・発達、加齢、死	0		0	0	0	0			0	0	0			0		0		0	0	0	0	0	0	0			0	0 1	9
5	発病機構、病態	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0			0		0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0 2	.3
6	診断、治療	0		0	0	0	0			0	0	0			0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 2	1
7	公衆衛生・疫学		_	0			0	_	_		0	0			0		0	0	0	0	0		0	0	0	0		0	0 1	6
8	地域医療・福祉・介護		_		_			_	_											0				0						3
	医療安全管理		_	0				_	_			0								0			0						0 8	
	感染対策 医療棒型等理,但人棒型促進			0		0		0	0	0										0			0			0			0 1	
	医療情報管理・個人情報保護			0							0	0							0				0			0		0		7
1	診療の実践と医療の質向上 患者に対して深い敬意と思いやりを示し、患者背景に配慮した全人的医療を実践			0							0		0		0				0	0	0									7
1	できる。 患者の病歴聴取を正確に実施できる。			0							0 0		0		0						0				0	0		0		9
	患者の身体診察を適切に実施できる。			0							0				0						0					0		0		9
	基本的臨床手技や救急処置を適切かつ安全に実施できる。			0							0				0						0			0		0				9
5	臨床推論によって的確な鑑別疾患を挙げることができる。			0							0				0				0	0	0	0		0	0	0	0	0	1	2
6	診断や治療に必要な検査計画を立案し、検査結果を解釈することができる。			0							0				0				0	0	0				0	0	0	0	1	0
7	適切な治療計画を立案し、治療に参加できる。			0							0									0								0	2	4
8	インフォームドコンセントや患者教育に参加できる。			0							0									0		0							2	4
9	自らが担当する患者の医療文書や診療録を作成できる。			0							0				0					0									2	4
10	自らが担当する患者についてプレゼンテーションができる。			0							0		0						0	0		0							(6
11	医療安全や感染対策を適切に実施できる。			0							0	0								0									2	4
12	関連情報を分析し、EBMを実践することができる。			0							0	0	0		0					0						0	0		8	8
	コミュニケーションとチーム医療		Ī		ı			ı	Ī					T	Ī		I	Ī	Ī				Ī		-			П	_	
	患者や患者家族の言葉を傾聴し、理解や共感、支持的態度を示すことにより、良好な信頼関係を築くことができる。 ICTも有効に活用し、病状・治療方針などを明確に患者や患者家族に伝えること			0							0		0		0	0			0	0						0			8	8
	ができる。			0							0					0			0	0						0			(6
	医療チームのスタッフと良好な関係を築くことができる。			0							0								0	0									4	1
	リーダーシップを発揮しつつ、多職種間連携を円滑に行うことができる。 生涯にわたって自律的に学ぶ姿勢			0							0	0							0	0						0				6
	知識、技能、態度の向上を目指し、自己主導型学習を行うことができる。			0							0	0	0		0		0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0 1	7
	他の医療者と共に医学・医療の進歩に関心を持ち、生涯にわたって自律的に学び続けることができる。			0							0	0			0		0					0							0 1	
			<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	1	<u> </u>	<u> </u>														<u> </u>							
	保険制度をはじめとした医療提供体制(救急医療や在宅医療を含む)について説 明できる。																							0		0		0	(3
-	保健・医療・福祉・介護の施設間や職種間での連携の必要性とその方法について 説明できる。																							0						1
	地域医療の基盤となるプライマリ・ケアを実践できる。																												(0
4	地域医療に積極的に参加できる。																												(0
5	地域住民に対する疾病予防、健康増進、安全確保のための活動に参加できる。																												(0
6	災害医療に積極的に参加できる。																												(0
	科学的探求心と国際的視野		1			I		ı	1				ı	<u> </u>	1	1	1	ı	Т	ı	ı		T				, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			
1	医学・医療での未解決の課題を発見し、その解決方法を科学的に考案することが できる。	0		0	0	0	0			0	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	2	21
	医学研究で用いられる基本的研究手技を実施できる。			0	0	0			0		0	0					0		0	0				0					1	0
3	実習・実験結果について論理的に考察し、プレゼンテーションすることができる。 る。		0		0	0			0		0	0					0			0				0					1	12
	ICTを活用して、英語により必要な医学情報を得ることができる。			0							0	0					0		0		0			0	0	0		0		12
	医療の発展のために、得られた研究成果を世界に情報発信することができる。		_	0	_	_	_	_			0 (0 (0			0			_							6
	科学的思考に基づいた批判・討論ができる。	0	0			0	0	_		0	0 (0					0					0			0		18
	国際的視野に立って医学・医療に関する課題について、考察することができる。 医療活動を通した国際協力に関心を示し、参加することができる。			0								0 0					0	0		0	J				0	0		0		6
8	四瓜11世のと四口に四欧畑川に民心とかし、参加りることがでさる。																	J		J								Ш		6

8 医療活動を通した国際協力に関心を示し、参加することができる。

 \circ

	臨床実習の内訳		-	- I	_	I -	I -	-	Ι -	I - I	_	I -			
<u></u>		科循	5 消	5 臓糖	5 神	5 小	5 精	5 皮	5 般消	5 外心	5 整	5 耳	5 脳	5 科母	5 泌
	拉来到口	環 器-	化器	内尿 科病	経内	児 科	神 科	膚 科	科器	科臓血	形外	鼻咽	神経	子 診 療	尿器
	授業科目	内科、	内科	内 分	科				外 科、	管外	科	喉 科	外 科	療 科 	科
	アウトカム	呼	<u></u>	泌内					乳	科、				女 性	
		吸器	液内和	科、					腺・	呼吸				診	
Α.	倫理とプロフェッショナリズム	内	科	腎						器				療	
1	豊かな教養と確固たる倫理観を身につけ、利他的かつ公正な態度で行動できる。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	 	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0		0
3	医療行為・医学研究者の主体者としての自分自身の在り様に気づくことができ、	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0		0
	自らの行為を常に見極めることができる。 医療と関連する各種法令を理解し、それらを遵守することができる。	0	0	0	0		0	0	0	0		0	0		0
	同僚や後輩に対して助言や指導ができる。			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
В.	 医学知識と問題対応能力				0	U		0						<u> </u>	
	し続ける基礎医学、社会医学、臨床医学、行動科学に関する以下の領域の知識を習 、それらを根拠に基づいて診療や研究に活用することができる。														
1	遺伝、発生	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0			0
2	正常構造、機能、代謝	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0		0
3	心理、行動			0	0	0	0					0			0
4	成長・発達、加齢、死	0		0	0	0	0	0		0		0	0		0
5	発病機構、病態	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0		0
6	診断、治療	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0		0
7	公衆衛生・疫学	0		0	0		0	0				0	0		0
8	地域医療・福祉・介護	0	0	0	0		0	0			0	0	0		0
9	医療安全管理	0	0		0	0	0	0		0		0	0		0
10	感染対策	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0		0
11	医療情報管理・個人情報保護	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0
c.															
1	患者に対して深い敬意と思いやりを示し、患者背景に配慮した全人的医療を実践で きる。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	患者の病歴聴取を正確に実施できる。	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	患者の身体診察を適切に実施できる。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	基本的臨床手技や救急処置を適切かつ安全に実施できる。	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0		0
	臨床推論によって的確な鑑別疾患を挙げることができる。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
	診断や治療に必要な検査計画を立案し、検査結果を解釈することができる。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
	適切な治療計画を立案し、治療に参加できる。	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	インフォームドコンセントや患者教育に参加できる。	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	自らが担当する患者の医療文書や診療録を作成できる。	0	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0
	自らが担当する患者についてプレゼンテーションができる。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	医療安全や感染対策を適切に実施できる。	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0
	関連情報を分析し、EBMを実践することができる。	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーションとチーム医療														
1	患者や患者家族の言葉を傾聴し、理解や共感、支持的態度を示すことにより、良好	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	な信頼関係を築くことができる。 ICTも有効に活用し、病状・治療方針などを明確に患者や患者家族に伝えることが	0	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0
3	できる。 医療チームのスタッフと良好な関係を築くことができる。	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0
	リーダーシップを発揮しつつ、多職種間連携を円滑に行うことができる。	0	0		0		0	0		0		0	0		0
-	生涯にわたって自律的に学ぶ姿勢						Ŭ			Ü		Ū			
	知識、技能、態度の向上を目指し、自己主導型学習を行うことができる。	0	0	0	0	0	0	0		0		0	0		0
	他の医療者と共に医学・医療の進歩に関心を持ち、生涯にわたって自律的に学び続	0	0	0	0	0	0	0		0		0	0	0	0
	けることができる。 地域医療への貢献								<u> </u>						
1	保険制度をはじめとした医療提供体制(救急医療や在宅医療を含む)について説明	0	0	0	0		0	0		0	0	0			
1	できる。 保健・医療・福祉・介護の施設間や職種間での連携の必要性とその方法について説	0	0	0	0		0	0			0	0	0		
	明できる。 地域医療の基盤となるプライマリ・ケアを実践できる。	0	0	0	0		0	0			0	0	\vdash		
	地域医療に積極的に参加できる。									0	0				
	地域住民に対する疾病予防、健康増進、安全確保のための活動に参加できる。												0		
	地域住民に対する疾病予防、健康増進、安全確保のための活動に参加できる。 災害医療に積極的に参加できる。										0				
	科学的探求心と国際的視野												<u> </u>		
1	医学・医療での未解決の課題を発見し、その解決方法を科学的に考案することがで	0	0	0	0			0				0	0		
0	きる。 医学研究で用いられる基本的研究手技を実施できる。														
	医学研究で用いられる基本的研究子技を美施できる。 実習・実験結果について論理的に考察し、プレゼンテーションすることができる。	0			0	0		0		0	0	0	0	0	
	ICTを活用して、英語により必要な医学情報を得ることができる。	0		0			0	0		0	0	0	0		
	医療の発展のために、得られた研究成果を世界に情報発信することができる。)								0			\vdash		
	医療の発展のために、待られた研究成果を世界に情報発信することができる。 科学的思考に基づいた批判・討論ができる。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	科学的思考に基づいた批判・討論ができる。 国際的視野に立って医学・医療に関する課題について、考察することができる。			0	0			0	0	0	0	0	0		
	国際的視野に立つく医学・医療に関する課題について、考察することができる。 医療活動を通した国際協力に関心を示し、参加することができる。												\vdash		
8										0			<u> </u>		

	臨床実習の内訳	I _				l -	T -	I _ I		I -	T _	I -	- I	_				30
	学年	眼	5 二麻	5	5 歯	5 救	5 診検	5 夕腫	5 家	5 医	5 薬	5 臨	5 看	5 科リ	<u>5</u> 医	5 栄	5 医	臨
	拉来到日	科	ッ か り 科 、	射線	科口口	急 •	断查科部、	`内		療面	剤部	床研	護 部	・ハ部ビ	療安・	養治	師臨	床
	授業科目		科 、	科	腔外	集中	輸病	緩科 和・	療演	接実習		究開		リテー	全管	療 部	床教	実習の
	アウトカム		イン		科	治療	血理部部	ア瘍	習	習		発セ		シュ	理 部		育セ	まと
			クリ			部	病	実セ習ン				シター		ョン			シター	め
A.	倫理とプロフェッショナリズム					,	理				ļ							
1	豊かな教養と確固たる倫理観を身につけ、利他的かつ公正な態度で行動できる。	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0		0	28
2	 人々を尊重し、医療者・研究者として、 社会に対して責任を遂行できる。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	27
3	■ 医療行為・医学研究者の主体者としての自分自身の在り様に気づくことができ、	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0		0			24
4	自らの行為を常に見極めることができる。 医療と関連する各種法令を理解し、それらを遵守することができる。		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0		23
	同僚や後輩に対して助言や指導ができる。	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0	0	0			23
В.	 医学知識と問題対応能力								0						0			20
	し続ける基礎医学、社会医学、臨床医学、行動科学に関する以下の領域の知識を習 、それらを根拠に基づいて診療や研究に活用することができる。																	
1	遺伝、発生	0	0	0			0	0	0									17
2	正常構造、機能、代謝	0	0	0	0	0	0	0	0							0		21
3	心理、行動	0	0		0			0	0				0					12
4	成長・発達、加齢、死	0	0	0	0	0		0	0				0		0			19
5	発病機構、病態	0	0	0	0	0	0	0	0							0		21
6	診断、治療	0	0	0	0	0	0	0	0				0		0	0		23
-	公衆衛生・疫学		0	0		0		0	0									13
	地域医療・福祉・介護		0			0			0				0	0	0			16
	医療安全管理		0	0	0	0	0	0	0		0		0		0	0		21
	感染対策		0	0	0	0	0	0	0				0		0	0		22
-	医療情報管理・個人情報保護		0	0	0	0	0	0	0			0	0		0			23
	診療の実践と医療の質向上							Ü					Ü					
1	患者に対して深い敬意と思いやりを示し、患者背景に配慮した全人的医療を実践で	0	0	0	0	0	Γ	0	0	0			0	0	0			25
	きる。		0					0										
	患者の病歴聴取を正確に実施できる。	0		0	0	0			0	0			0	0	0			24
_	患者の身体診察を適切に実施できる。	0	0	0	0	0		0	0	0			0	0	0			25
	基本的臨床手技や救急処置を適切かつ安全に実施できる。	0	0	0	0	0		0	0	0			0	0	0	0		24
	臨床推論によって的確な鑑別疾患を挙げることができる。	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0			24
	診断や治療に必要な検査計画を立案し、検査結果を解釈することができる。	0	0	0	0	0	0	0	0	0			_	0	0	0		25
7	適切な治療計画を立案し、治療に参加できる。	0	0	0	0	0		0	0	0			0	0	0			24
8		0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	0			25
9	自らが担当する患者の医療文書や診療録を作成できる。	0	0	0		0		0	0	0			0		0			21
10	自らが担当する患者についてプレゼンテーションができる。	0	0	0	0	0		0	0	0			0	0	0			25
11	医療安全や感染対策を適切に実施できる。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0	0		26
12	関連情報を分析し、EBMを実践することができる。	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0			25
D.	コミュニケーションとチーム医療										1							
1	患者や患者家族の言葉を傾聴し、理解や共感、支持的態度を示すことにより、良好な信頼関係を築くことができる。	0	0	0	0	0		0	0	0			0	0	0			25
2	ICTも有効に活用し、病状・治療方針などを明確に患者や患者家族に伝えることができる。		0	0	0	0		0	0	0			0		0			21
3	医療チームのスタッフと良好な関係を築くことができる。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0		27
4	リーダーシップを発揮しつつ、多職種間連携を円滑に行うことができる。	0	0	0		0	0	0	0	0	0		0		0	0		21
Ε.	生涯にわたって自律的に学ぶ姿勢																	
1	知識、技能、態度の向上を目指し、自己主導型学習を行うことができる。	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0		0			23
2	他の医療者と共に医学・医療の進歩に関心を持ち、生涯にわたって自律的に学び続けることができる。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0			25
F.	地域医療への貢献																	
1	保険制度をはじめとした医療提供体制(救急医療や在宅医療を含む)について説明できる。		0			0			0		0			0	0			15
2	保健・医療・福祉・介護の施設間や職種間での連携の必要性とその方法について説明できる。				0	0		0	0				0	0	0			16
3	地域医療の基盤となるプライマリ・ケアを実践できる。		0			0		0	0					0				13
4	地域医療に積極的に参加できる。					0			0		0			0			0	7
5	地域住民に対する疾病予防、健康増進、安全確保のための活動に参加できる。							0	0									3
	災害医療に積極的に参加できる。		0			0												3
	科学的探求心と国際的視野	<u> </u>	1				1	ı		<u>I</u>	I	<u> </u>	1			<u> </u>		
1	医学・医療での未解決の課題を発見し、その解決方法を科学的に考案することがで			0	0	0		0			0	0						14
2	きる。 医学研究で用いられる基本的研究手技を実施できる。						0					0						2
-	実習・実験結果について論理的に考察し、プレゼンテーションすることができる。	0		0		0	0	0						0				15
	ICTを活用して、英語により必要な医学情報を得ることができる。	0		<u> </u>	0	0	\vdash	0) 0				13
	医療の発展のために、得られた研究成果を世界に情報発信することができる。																	10
	となり完成のために、待られた明光成末を世外に情報光信することができる。 科学的思考に基づいた批判・討論ができる。	0		0		0	0	0			0			0				19
	科学的思考に基づいた批判・討論ができる。 国際的視野に立って医学・医療に関する課題について、考察することができる。			0	0	0	 	0				0		0				
-							-)				14
8	医療活動を通した国際協力に関心を示し、参加することができる。					1												